マンスリーフォトぐらふ

まちのできごと・マンスリーでお知らせします。

6/1 湖上をにぎわす大船団
支笏湖チップ釣りが解禁

例年同様、今年も６月１日に支笏湖チップ釣りが解禁され、早朝から多数の漁船が朝もやのかかった湖上をにぎわせました。支笏湖漁業協同組合によると、同日午前４時から湖岸と湖上の巡視を開始し、６時までに漁船 132 隻を確認しました。気温が９℃と肌寒い中、この日７尾目となる 40cm ほどのチップを釣り上げたのは、漁師の小林（こばやし） 拓也（たくや）さん。船体に取り付けられた７本の釣り竿を巧みに操る姿が印象的でした。

6/3 参議院議員通常選挙
千歳市執行本部が発足

７月 10 日投開票の参議院議員通常選挙を前に、市選挙管理委員会は執行本部を設置しました。執行本部は北村 本部長以下 19 人で構成され、総務班、期日前投票班、啓発・設営班に分かれて職務にあたります。設置に際して、藤田 事務局長は、「選挙は、国民の意思を政治に反映させる大切な機会です。候補者や政党の政見などを十分見極めて、大切な一票を投じてください」とコメントし、「投票所の混雑緩和のため期日前投票の利用もお願いします」と呼びかけました。

6/5 大会特有の熱気は健在
千歳 JAL 国際マラソン

３年ぶりの開催となった千歳 JAL 国際マラソン。会場には、開催を心待ちにしていたランナー 4,138 人が集結しました。種目がフルマラソンと 17km のみとなり、時間差スタートや出走１分前までのマスク着用など、コロナ対策で例年と異なる点が多かった今大会でしたが、沿道にはたくさんの声援が響き渡り、大会特有の熱気は健在でした。女性トップでフィニッシュし、自己ベストを更新したという藤澤（ふじさわ） 舞（まい）さんは、「緑の中を走ることができ、未舗装の路面が足にやさしく、苦しいところがないくらい気持ちよく走れた」と振り返りました。

6/5 待望の第２回公演
市民ミュージカル 稽古スタート

2020 年１月に上演され、大好評を博した市民ミュージカル《あやの見た空》の第２回公演の稽古がスタートしました。第２回公演は、村民総出の労力奉仕による着陸場建設から現代に至るまで、激動の時代を生き抜いた名もなき人々の物語です。最初の顔合わせとなったこの日は、出演者が舞台をイメージしやすいよう、演出担当の任（にん） 泰峰（たいほう）さんが、自ら書いた脚本を読み上げました。第２回公演は、11 月 26 日、27 日に北ガス文化ホールにて上演予定です。

6/19 職業体験で社会の仕組みを学ぶ
こどものマチ Jr.Chitose2022

千歳青年会議所が主催する職業体験イベント《こどものマチ Jr.Chitose2022》が千歳アウトレットモール・レラで開催され、市内の小学生約 100 人が参加しました。市内の企業など約 30 社の協力を得て店舗内に体験ブースが設けられ、参加者は好きな職業のブースで職業体験を行い、体験を終えるともらえる通貨で買い物を楽しみました。コンビニのブースで接客を体験した小学４年生の村井（むらい） 結都（ゆいと）さんは、「普段はできない体験ができた。おすすめの商品を毎回お客さんに言うのが大変だった」と感想を語りました。

6/21 6/23 市民協働で実現
ゼロカーボンシティ

市が今年２月に《ゼロカーボンシティ宣言》を表明して以降、脱炭素社会への転換を図る市民協働の動きが加速しています。６月 21 日に開催された環境審議会では、カーボンニュートラルに向けた市の取り組みが紹介されたほか、今後の展望について意見を交わしました。また６月 23 日には田部（たべ） 豊（ゆたか） 北海道大学教授ほか３名を招いて《ゼロカーボンシティのためのエネルギー（入門）》と題した市民教養セミナーを開き、会場とオンラインを合わせて約 60 人が受講しました。

人のうごき

《総人口》
97,469 人（－109）
男性　49,508 人（－108）
女性　47,961 人（－1）
《世帯》51,130 世帯（－110）

（ ）内は、前月との比較です。

7･1 現在

広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせの発行日は毎月 10 日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。

広報広聴課　広報係
☎(24)0104　FAX(22)8851